

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I コメ・コメ加工品の輸出回復及び輸出拡大に向けた施設の整備を目的とする取組用

(新潟県 令和5年度)

市町村名	事業実施主体名	類別1	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	類別2	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後	目標値	達成率				計画時 (令和元年)	1年後 (令和3年)	2年後 (令和4年)	3年後 (令和5年)	目標値 (令和5年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他				
小千谷市	(株)たかの	③	包装米飯の輸出向け出荷量の30t拡大	0.73t	1.58t	2.46t	1.51t	30.73t	16.1%	①	取扱量に占める新潟県産の原料用米の使用割合の20ポイント増加	28.6%	18.0%	4.9%	5.4%	48.6%	-116.0%	全体米使用量のうち新潟県産米の使用割合は5.4%であり、達成率は-116%であった。	340,457,469	125,000,000		215,457,469	令和4年3月23日	<p>【輸出向け出荷量の増加】 目標未達成。要因としては、資材費やエネルギーコスト、人件費などが高騰し、コスト面で障害となっている。対策として、商社やジェトロと連携して荷物をまとめてコスト削減が出来る大口の新規取引先の獲得に努める。今期、海外向けPB商品の契約が決まったため、来季に向けては出荷量の増加が期待できる。また、来期に向けては、取引先との商談を積極的に行うとともに、NICOの共同出展ブースで輸出EXPOへの出展や、県主催の輸出商談会やイベントにも積極的に参加し、出荷量の増加ならびに新規取引先の獲得に努める。</p> <p>【新潟県産の原料使用割合の増加】 目標未達成。要因としては、新潟県産米を使用した新規取引先のPB商品の商品化を実現したが、コンビニ向け商品でリニューアルがなかったために新潟県産米の使用量の大幅な増加につながらなかった。対策として、他の取扱商品の新潟県産米を使用したバックご飯の輸出や国内向けの販売のプロモーションを強化し、使用割合の拡大に努める。</p>	<p>輸出用バックご飯は、資材費やエネルギーコスト、人件費等の高騰もあり、商品価格が抑えられず現時点では成果目標の達成に至っていない。今後は商社やジェトロと連携してコスト削減を可能とする商流の獲得を模索していくことになるが、県としては県主催の各種輸出商談会やイベントへの出展調整の支援を積極的に行っていく。</p> <p>また、新潟県産の原料使用割合の増加についても新潟県産米を使用した新規取引先のPB商品の商品化を実現したが割合が小さく、割合の大きいコンビニ向け商品でリニューアルがなかったために目標の達成には至っていない。新潟県産米を使用した商品の輸出、国内販売拡大に向けた取組を引き続き強化するよう指導する。</p> <p>今後は事業実施主体から目標達成のための取組に関する定期報告をするよう引き続き指導し、その報告に応じて、定期的な打ち合わせを行い、目標達成に向けた支援・指導を行う。</p>			

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 3 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 4 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 5 「事業実施後の状況」については、類別1については事業完了後3ヶ月、類別2については事業完了後3年間の実施状況についてそれぞれ記入すること。